

蒲郡暮らし実感ツアー 「リアルな蒲郡がわかる1日旅。」

第2弾 「自然とともに働き、暮らす1日旅」を開催しました！



自然とともに働き、暮らす1日旅

12月3日（土）に「リアルな蒲郡がわかる1日旅。」の第2弾として、「自然とともに働き、暮らす1日旅」を開催しました。

【10：00～ 集合・開会】

愛知県内にお住まいの蒲郡への移住を希望する方など4名がご参加されました。当初は9組16名の応募がありましたが、体調不良などの理由により欠席が相次ぎ、結局2組の夫婦4名の参加となりました。



開会にあたって市担当課長より、挨拶と今回の蒲郡暮らし実感ツアーを実施することになった趣旨、市の概況などを説明し、その後、スタッフ側も含めて自己紹介を行いました。

ツアーの参加理由は「定年後の田舎暮らしを考えているため参加した。豊田市内での移住も検討している」、「蒲郡が好きで、よく訪れて楽しんでいるため参加した」、「以前はトライアスロン選手として、今はスタッフとして訪れている。今回は夫が申し込んだので参加した」、「トライアスロンやトレイルランニングでよく訪れている。息子がヨットをしていたのでよく送迎したが、国道23号を使えば車移動は楽である。母の実家が瀬戸内海に面しており、そのような海のある暮らしを考えて参加した」と、蒲郡へよく訪れている方々であり、新たな蒲郡の魅力を知る1日を楽しみにしている様子でした。

その後、バスの車内から、西浦漁港へ向かうルートにある買物先、企業、住宅地、蒲フォルニアなどを紹介しました。



【10：45～ 漁師の暮らしのお話 ～先輩移住者 浦田圭太さん～】

＜先輩移住者 浦田圭太さん＞

- ・西尾市出身
- ・漁師
- ・夫婦と子ども2人と4人暮らし

「9年前に移住しました。以前はサラリーマンとして働いていましたが、どうも性に合わないの、元々釣り好きということもあり、漁師について調べ、新規漁業就業支援があり、まちと海が近い蒲郡が気に入り、移住を決めました。3年間は師匠のもとで修業し、現在も先輩漁師から技術を教えて頂きながら技を高めています。船も中古で購入し、独立して漁師をしています。週2～4日、日の出の1時間前から漁に出て小型底引き網でワタリガニ、シャコ、アカガイなどを獲っています。漁師だけでなく、チャーターでの漁業体験プログラムも行っています。」とお話しいただきました。また、漁船や知柄漁港で獲れた多様な魚を販売している西浦マーケットを見学しました。



【11:50～ 昼食 ～Uターン者 鈴木 芳さん・由美子さん】

＜先輩移住者 鈴木芳さん、由美子さんご夫婦＞

- ・芳さん：蒲郡市出身。由美子さん：大分県出身。
- ・芳さん：大学進学で九州へ。九州で就職、結婚、起業を経て、転職を機にUターン
- ・CHARI-CAFE POTTER を経営。現在は店舗移転に伴い、寿々屋にて臨時営業中



昼食は西浦にある「寿々屋」さんで、西浦漁港で水揚げされた深海魚のメヒカリのフライ付キーマカレーをいただきました。また、鈴木寿明蒲郡市長が駆け付け、ツアー参加者へのお礼と蒲郡への移住を促す言葉をかけていただきました。



鈴木芳さんからは「西浦出身で、12年間九州で過ごし、結婚後にUターンしました。帰ってきた時、いい意味でも、悪い意味でも西浦は何も変わっていませんでした。西浦は三河湾に囲まれて海も穏やかで、好きな釣りもできます。2017年に竹島でCHARI-CAFE POTTERをオープンしましたが、建物の老朽化を理由に立ち退きすることになり、今は実家の母が経営するここで営業しています。現在は2月のオープンを目指し、旧西浦漁協信用部の建物を活用し、1階は食堂、2階はプライベートサウナを完備した美しい夕日を楽しめるゲストハウスに改装中です。今後は深海魚の価値を高めること、また、SUPと自転車のトライアスロン「パドルペダル」の大会も企画しています。



また、西浦では空き家が増えています。以前、借りていた空き家は9DKの庭付き・駐車場無しで、家賃は月5万円でした。大家さんからは家を好きなようにいじって良いと言われ、庭では家庭菜園もできます。別荘にも2拠点居住にも使えると思います。」と語っていただきました。

また、由美子さんからは、「海も山も近く、つつい身体を動かしたくなります。子どもは上が6年生、下が3年生ですが、先日、名古屋に行って帰って来た時、都会は疲れる、西浦が落ち着くと言っているほど、子ども達は西浦が大好きです。学校ではアスパラ栽培、みかん収穫、漁業体験などの課外授業で色々な体験をさせてもらえることに驚き、蒲郡の魅力だと感じました」と語っていただきました。



【13：30～ 農ある暮らしのお話 ～先輩移住者 尾崎耕平さん・愛さん】

＜先輩移住者 尾崎耕平さん・愛さん＞

- ・耕平さん：茨城県出身、愛さん：蒲郡市出身
- ・いちご農家

「妻が生まれ育った蒲郡へ名古屋から移住して今年で4年になります。茨城県日立市出身で、大学の頃は神奈川県と青森県に住んでいました。就職で名古屋に来て、農業系の営業の仕事をしていました。結婚を機に将来のライフプランを考え、蒲郡で農業を始めることにし、特産品として力を入れており、収量も良いイチゴの新規就農者として1年間、農家で研修を受けました。農地を借りて、補助金などを活用してハウスを建てました。収穫時期となる12月から6月まで、収穫、パック詰め、箱作りなどでかなり忙しいです。夏は主に苗づくりなどを行っています。蒲郡には39名のイチゴ農家の部会員がいますが、作業をお互いに手伝うこともあり、長期の休みを取りやすく、大好きな旅行にも行けます。現在は章姫を栽培しており、10トン以上の収量が目標です。通常は、たくさんある規格に分けて出荷しないとイケませんが、蒲郡では2段階の規格で良いので出荷作業も楽で、農協を通じて名古屋へ出荷しています。また、高所栽培で腰への負担も少なく収穫作業ができ、葉っぱの状態を見ながら撒く肥料や水も自動化しています。美味しいイチゴは、苗から近いもの、大き目のもの、ヘタが伸びているもので、1～2月に収穫できたものが一番美味しく、収穫したてを1時間ほど冷やして食べるのが良い。」と話していただきました。

また、今後の夢、目標として「白いイチゴも栽培し、紅白イチゴとしての販売すること」など語っていただきました。



参加者からの質問に対して「新規就農者は30～40歳代が多いですが、まずは農家にアルバイトへ行き、自分の農業への適応力を見るのが良いと思います。また栽培する作物は自分がやりたいものが良いですが、やりやすいのは葉物だと思います。」と話していただきました。

さらに、蒲郡での暮らしや移住にあたって不安だったことなどの質問に対し、「蒲郡の人は明るく、消防団にも入って地域とのつながりもできています。移住した時に不安だったこともありませんでした。」と語っていただきました。

【14：20～ 農地周辺散策】

農のある暮らしを体感しようと、尾崎さんのいちごハウスから歩いて、市民農園などを見学しながら散策しました。



【15：00～ 暮らしの場の見学】

散策後、暮らしに必要な買い物先、病院、公園などを見てもらうバス見学を行いました。

双太山公園、みかん畑、市民病院、竹島水族館、サンヨネなどの市内各所を市の成瀬課長と大桑さんのガイドで巡っていきました。

なお、双太山公園で途中下車し、展望台から海を眺めて休憩しました。



【16：00～ 蒲郡での暮らしを考える座談会】

市役所では、先輩移住者4名も加わり座談会を開催しました。

今日1日を振り返りながら「こんな暮らしをしたい」、「こんな仕事・働き方をしたい」などを語っていただきました。また、先輩移住者からは自己紹介も兼ねて「蒲郡での暮らしの魅力」を語っていただきました。

ツアー参加者から「住まいの探し方は？」などの質問があり、先輩移住者から「蒲郡ではネットに出ている物件は少ない」、「個人で経営している昔ながらの不動産が良い」、「Googleマップで畑を探し、いい場所が見つかったら地元の不動産へお願しに行く」、「足でかせぐ」、「地元の人と仲良くなり話を聞く」、「借家の場合は空き家バンク」などをアドバイスしていただきました。



■ツアー参加者が描く「自然とともに働き、暮らすイメージ」

①蒲郡でこんな暮らしをしたい	②こんな仕事・働き方をしたい
<p>ゆっくり、のんびり自然の中で暮らしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 海も山もあるので、海遊び、山登り、畑で野菜づくり。 広めの平屋に住んで、ネコをもっと飼いたい（現在2匹） イベントも沢山あると聞いたので、色々出掛けたい。 	<p>ケアマネの仕事や福祉の仕事がしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今は毎日がただただ忙しい日々なので、ゆっくりのんびりと過ごしたい。 今は仕事優先なので、仕事はもっとスローペースで自由な時間を好きなこと、やりたいことを優先して過ごしたい。 接客業が好きなので、人と関わる仕事をしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 友人達を自宅に招いてホームパーティをしたい。 年相応にメリハリのある生活を送りたい。 毎日ロケーションのいい道をゆっくりランニング、サイクリング。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のサポート？訪問看護 イベントのお手伝い 今までと全く違う仕事、アルバイト
<ul style="list-style-type: none"> 海、山が好きなので、日常的に接しながら休日、週末はマリンスポーツやトレイルランニングにどっぷりつかりたい！ 犬が好きなので、一緒に暮らせるような家を見つけて住みたい。 	<p>理想を言えば農業に関わりたいと思っているが、現実的には結構厳しいことが予想されるので、現職の資格や経験を活かしながらできることがあれば良いかなと思っている。</p>

■座談会の内容

蒲郡での暮らしを考える座談会
<p>《座談会内容》</p> <p>～先輩移住者が感じる「蒲郡での暮らしの魅力」～</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋へ通勤する場合、電車は座れ、その間は自由な時間を過ごせる 蒲郡は新しい取組に応援・協力してくれる人が多い 高齢者でも元気なまちで、蒲郡愛が強い 蒲郡では農業は簡単に始められる。半農半Xのようなこともできる。 <p>～住まいの探し方～</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人が経営している地元の不動産屋に聞いてみる Googleマップを使って、畑などを探し、気に入った場所が見つかったら不動産屋に聞いてみる 足でかせぐ（歩いて看板がついている売地を見つける） 地元の人に話を聞いてみる 地元の人と仲良くなって空き家情報を集める 空き家バンクを利用する

【16:50～ 閉会】

閉会の言葉を述べ、第2弾の「自然とともに働き、暮らす1日旅」が終了となりました。

最後は実感ツアーの参加者、先輩移住者、市、事務局も含め全員で記念撮影を行い、解散となりました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた移住者の皆様、ありがとうございました。

